

# 藤波こども園

令和5年度 園長だより No.8

令和6年1月9日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

## これからの1年が幸せな年になりますように

例年とは違った暖冬の中で年末を過ごし、新年を迎えた慶びのあいさつを交わしている中で地震が起きました。「あけましておめでとうございます」には、新年が良き1年になることを願って予め祝う『予祝』という意味があると古くから言われているようです。子どもたちが園生活を楽しく送り、幸せな年になりますよう、本年もどうぞよろしく願いいたします。

### 計画、準備、練習、本番

#### そして 緊張と達成感・充実感

運動会と同じように、月組の子どもたちから出てきた「発表会をやりたい!」の声で始まりました。星組、花組の子どもたちも月組がやり始めているのを見て「私たちもやりたい!」の声。そしてそこから保育者と子どもたちの間で「どんな劇をしようか」の相談が始まり、今まで親



しんできたお話や、普段の遊びの内容を劇にして取り組んでいました。用意された

台本や道具の見本などはなく、保育者と子どもたちとの相談の中でセリフや道具ができてきました。

本番の数日前には練習を兼ねて、乳児の子どもたちも一緒に子どもたち同士で劇の見せあいっこをしました。劇が終わった後で見ていた子どもたちが感想を言う場面を設定したのですが、たくさんの子が手を挙げて感想を



言い、「かっこよかった」「じょうずだった」など、褒め称える言葉がいっぱい出てきて、私たちも嬉しい気持ちになりました。

翌週、たくさんの保護者の方から連絡帳で発表会の感想をいただきました。

今年子どもたちだけでステージに立ち、緊張もあったかと思いますがみんな最後までやり遂げてすごいなあと思いました…。いろいろ案も出したようで準備も頑張ったのだろうと思います…。お友だちとの関わりが上手にできなかった頃に比べて今はお友だちの名前をよく聞くようになり、「休みはつまらんから幼稚園に行きたい!」というようになりました。毎日成長しているんだな、頑張っているんだなと感じます。もっと家で褒めてあげないといけませんね。(星組保護者)

## ごはんが おもちになった～！

### 豆が きなこになるの？



以前には多くの家庭で行われていた、と言ってももう昔の話になるのでしょうか、お餅つきを体験しました。臼に入った餅米がお餅に変わる様子を見て、そして自分たち

も杵を持ってお餅つきを体験し、ご飯つぶが消えてお餅に変わっていくことを不思議に感じながら、初めてのお餅つきに不安と喜びの様子でした。数日前



にお米を洗ったり、大豆からきなこを作ったりしているとき

も、子どもたちのわくわく感が伝わってくるほど、お餅つきを楽しみにしていました。大豆から作



ったきなこを試食して「甘くな～い」の感想。砂糖の入っていないきなこを

口にするのは初めてだったようです。できあがったお餅を小さくちぎって自分たちで丸め、砂糖を混ぜて少し甘くなった

きなこをつけて食べた時、「おいし～」の声がいっぱいでした。



## 園庭に樹木が増えました



滋賀県緑化推進会からお声をかけていただき、園庭にもみじ、ケヤキ、マテバシイの3本の樹木を提供いただきました。これは平和堂さんが店舗での有料レジ袋の

収益金を寄附され、それによって園や学校などの緑化を推進されているようです。3本の樹木をいただいた他に、土壌改良も行っていただきました。12月には記念植樹式を行い、その際にはオリジナルの積み木をいただきました。子どもたちは早速に創造力を活かし、いろいろなものを作って遊んでいました。



## ご寄附をいただきました

青柳仏教会より150,000円いただきました。園庭などの施設の充実のために使わせていただきます。ありがとうございました。

## 令和6年能登半島地震

### お見舞い申し上げます

この度の大地震で被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。

園では毎月、避難訓練を行っています。子どもたちには落ち着いて周囲からの指示に従って行動するように話しています。突然に襲ってくる災害に対して、どこへ、どのように避難するか、今一度、子どもたちも含めてご家族のみなさんと再確認しておきましょう。